
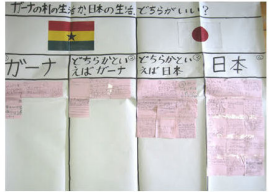



日本とガーナ、地球のために「今自分にできること」

所属	大口町立大口西小学校	実践者	永田 和久 (G)
対象	小学2年生	時間数	7時間
場所	2年3組 教室	実践教科	学級活動・道徳
ねらい	○ ガーナの農村の生活を考え、日本の生活との違いを知る。 ○ 地球の危機せまる現状を知り、地球にやさしく生きるため「今自分にできること」を考える。		
実践内容	回	プログラム	備考
	第1回 (1-2限)	もしもガーナの(農村)生活だったら!? ① アイスブレイク(4つのコーナー) ② ガーナの農村の暮らしと村人の幸せを知る。(スライドショー) ③ 「もしもガーナの(農村)生活だったら」をイメージする。※1 イメージできることを付箋紙に書き、グループで模造紙にまとめる。 ④ ガーナ(農村)と日本の生活の、どちらがいいかを考える。※2 「ガーナ」「どちらかといえばガーナ」「どちらかといえば日本」「日本」の4択で選び、理由ともに付箋紙に書く。その後、模造紙にまとめる。	※1 テーマ ① 農作物の自給 ② 肉・魚を捕る ③ 電気はなく自然光や火 ④ 自然が多い ⑤ 機械はなく手作り ⑥ 大勢で米作り ⑦ 水道はなく井戸 ⑧ ゲームはなく自然遊び 模造紙まとめ
	第2回 (3-4限)	もしも地球の資源がなくなったら!? ① アイスブレイク(私は誰? 動物の名前当て) ② 地球の真実を知り、「資源」とはどんなもののことかを考える。 「今の自分たちの生活をこのまま続けると、いずれ地球の資源は足りなくなる」を知り、身の回りの物は何からできているか意見を出し合う。 ③ 「もしも地球の資源がなくなったら」をイメージする。 「資源がなくなったら」中心に、イメージをグループで模造紙に派生。 ④ 自分たちの生活の、何が資源をなくす原因なのかを考える。 「資源がなくなる」中心に、思いつくことをグループで模造紙に派生。	
	第3回 (5限)	地球にやさしいのはどっち!? ① アイスブレイク(チュイ語で自己紹介) ② ガーナ(農村)か日本の生活の、どちらが地球に優しいかを考える。 「ガーナ」「どちらかといえばガーナ」「どちらかといえば日本」「日本」で選び、理由ともに付箋紙に書く。その後、模造紙にまとめる。※3	※2 対比表 
	第4回 (6-7限)	今自分にできること ① アイスブレイク(地球の真実クイズ) ② 「地球に良いこと(行動)」「地球に悪いこと(行動)」を考える。 考えを付箋紙に書き、グループで模造紙(対比表)にまとめる。 ③ 地球のために「今自分にできること」を考える。 物語「私にできること」を聞き、自分できることを書き出し、選択する。	※3 対比表 
成果	ガーナの生活に興味津々で、全員が4択で理由を考えて書けていた。「資源」を理解し、地球のこと、自分にできることもまとめることができていた。各回の最後の振り返りシートには、多くの児童が目いっぱい時間を使い、夢中で書いていた。子どものもっている力を感じることができた。		
課題	第4回で「自分にできること」を考え、できそうなことを選択するところまで行っただが、子どもたちの行動変容を知ることは難しかった。週1回のペースで行っただが、前回のことを忘れていた児童もいて、振り返りの時間を設けた。各回の間隔を、短くして行くとよかったと思った。		
備考	出典: JICA 中部/平成26年度開発教育指導者研修(実践編)第1回資料2「今、地球で起こっている30の真実」辻信一監修「私にできること 地球の冷やし方」2005年/ゆっくり堂		

[授業実践の詳細]

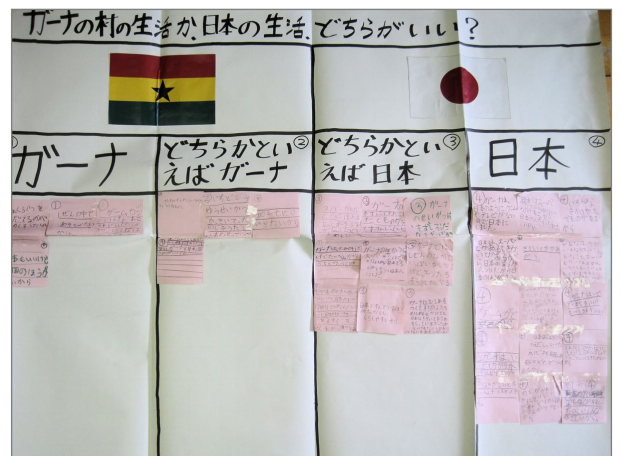
1-2 時限目 「もしもガーナの(農村)生活だったら!？」

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイク(4つのコーナー)…質問に対して、「男子」「どちらかといえば男子」「どちらかといえば女子」「女子」の4択で選択し、教室の四隅に分かれる。
- ② ガーナの農村生活と、村人が幸せを感じて生活していることを知る…スライドショーで、各テーマのガーナ写真を見る。
- ③ テーマごとに、「もしもガーナの(農村)生活だったら」をイメージする…以下の1～8のテーマからイメージできることを思いつくだけ付箋紙に書き、グループで模造紙にまとめる。(上写真)
 1. スーパーはなく、自分たちで作って食べて生活している。
 2. スーパーはなく、自分たちでとって生活している。
 3. 電気がなく、太陽の光や火を燃やして生活している。
 4. 建物はなく、周りは自然がいっぱい。
 5. 機械はなく、手作業で服などを作っている。
 6. 水道はなく、井戸から組んだ水で生活している。
 7. 機械はなく、大勢でお米を作っている。
 8. ゲームはなく、毎日広い自然の中で遊ぶ。
- ④ ガーナ(農村)と日本の生活の、どちらがいいかを考える…「ガーナ」「どちらかといえばガーナ」「どちらかといえば日本」「日本」の4択で選択し、理由とともに付箋紙に書く。その後、全員分の意見を一つの模造紙にまとめる。(下写真)
- ⑤ 振り返りシートを記入する

この時限のねらい

- ① もしもガーナの(農村)生活だったら、どんな感じになるかをイメージする。
- ② ガーナ(農村)と日本の生活を比べて、どちらがいいか考える。



2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ③…どのテーマでも、児童はどんどんイメージを膨らませて付箋紙を書いていた。「食べる鳥を見つけるのは宝探しみたい」と、子どもらしい意見もあった。
- ◇ ④…ガーナを選んだ児童は、「自然の中で遊びたい」「一度日本と違う生活をしてみたい」などという理由を、日本を選んだ児童は、「電気がないと大変」「日本には、テレビやゲームがある」などという理由を挙げていた。全員がしっかりと理由を書くことができていた。
- ◇ 1-2時限目の振り返り…「みんなで力をあわせてがんばっているから、わたしもガーナにいたらがんばってみたいです。」「生かつが大へんそうだけど、ガーナもいい国だと思いました。」

3 使用した教材

<教材1>各テーマのガーナ写真



スーパーはなく、じ分たちで作って食べて生活している



電気がなく、太^{ひかり}ようの光や火をもやして生活している



水道はなく、いどころくんだ水で生活している



きかいはなく、手さぎょうで ふくなどを作っている



きかいはなく、大ぜいで おこめを作っている



ゲームはなく、毎日広いせんの中であそぶ

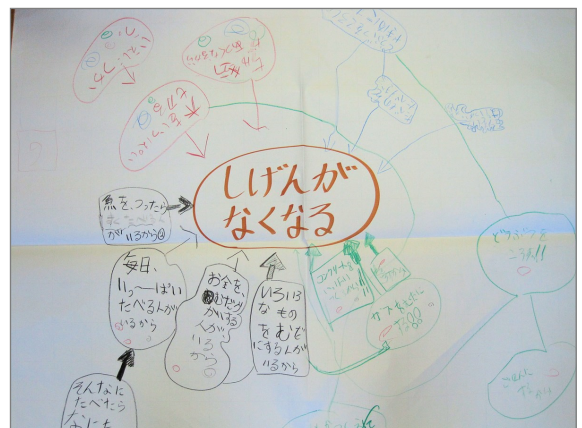
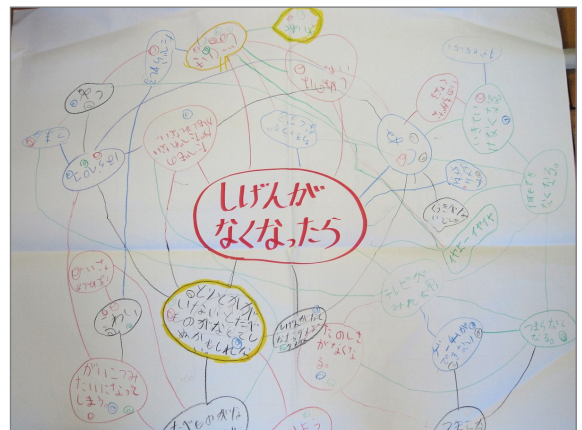
3-4 時限目「もしも地球の資源がなくなったら!？」

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイク(私は誰? 動物の名前当て)…
動物の名前(33種類)が書かれた付箋紙を背中にはり、「Yes」、「No」で答えられる質問をしながら、名前を当てる。
- ② 地球の真実を知り、「資源」とはどんなもののことを考える…「今の自分たちの生活をこのまま続けると、いずれ地球の資源は足りなくなる」を知り、身の回りの物は何からできているか、知っていることを発表する。教師の補足説明を聞く。
- ③ 「もしも地球の資源がなくなったら」をイメージする…
模造紙中心に「資源がなくなったら」と書き、イメージすることをグループで周りに派生する。他のグループに伝えたいものを3つ選び全体の前で発表する。
- ④ 自分たちの生活の何が資源をなくす原因なのかを考える…模造紙中心に「資源がなくなる」と書き、関係することをグループで周りに派生する。
- ④ 振り返りシートを記入する。

この時限のねらい

- 資源がなくなるとどうなるのかを考える。
- 資源がなくなる原因に気付く。



2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ②...「木」「ガラス」「鉄」「金」「銀」「あぶら」「肉・魚」「水」などの意見が出た。
- ◇ ③...ほとんどのグループで「死ぬ」という意見に行きついていた。発表で出た意見は、以下の様だった。
 - ・ 鳥とかがいなくなると、食べものがなくなって死ぬかもしれない。 ・ 電気がつかえない。
 - ・ 力がなくなる。 ・ 生きていけない。 ・ 水がなくなるとくちびるがしわしわになる。
 - ・ びょう気になる。 ・ 天国へ行く。 ・ 空気がなくなったら死んじゃう。
- ◇ ④...学2年生の児童にとって難しい課題で、書ける児童と書けない児童に分かれた。派生図には以下の様な意見が書かれていた。
 - ・ ものをそまつにして、また新しいものをすぐですててしまう。 ・ 食べ物を食べすぎ。
 - ・ 水・紙をむだづかいする。 ・ テレビの見すぎ。 ・ 電気のつけっぱなし。
- ◇ 3-4時限目の振り返り...「しげんがないと、生きていけなくなることが分かりました。」「わたしたちが大人になって、しげんがなくなっているといやなので、ものやお金をそまつにしないように気をつけたいです。」「今まで考えたことがなかったので、びっくりです。大人になると、しんじやいそうでこわいです。」

3 使用した教材

<教材2>平成26年度開発教育指導者研修(実践編)資料「今、地球で起こっている30の真実」

5 時限目「地球にやさしいのはどっち!？」

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイク(チュイ語で自己紹介)...事前に自分の誕生日を調べる。曜日によって呼び方が違うガーナネームを使って自己紹介をする。(以下、自己紹介)

「マーチ(こんにちは)」「ヤッフロムミー (私の名前はです)」「メダーシ、パパパ(とてもありがとう)」
- ② 前時までを振り返る。
- ③ 資源のリストが載ったプリントを読む。(前時の児童の意見をもとに、教師が作成したもの)
- ④ ガーナ(農村)か日本の生活の、どちらが地球に優しいかを考える...「ガーナ」「どちらかといえばガーナ」「どちらかといえば日本」「日本」の4択で選択し、理由とともに付箋紙に書く。その後、全員分の意見を一つの模造紙にまとめる。
- ⑤ 振り返りシートを記入する。

この時限のねらい

- ガーナの(農村)生活と、日本の生活を比べて、どちらが地球に優しいのかを考える。



2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ④...全員がしっかりと理由を書くことができていた。ガーナを選んだ児童の理由は次のとおり。

「電気やガスをつかっていないし、あまりしげんをつかわないから」「ちきゅうにやさしいと思いました。」

「日本は せきゆを いっぱいつかっているけど、ガーナは あまりつかっていないから。」

また、日本を選んだ児童の理由は次のとおり。

「ガーナは しぜんを いっぱいつかっているから。」

「ガーナは、日本より火でもやすって、けっこうたいへんだから。」

◇ 5時限目の振り返り

- ・「メダーシパパパ」で、「パ」ということばがおもしろかったです。(たくさん付けられるから)
- ・ガーナは、ゲームやきかいや スーパーはないけれど、やさしい生かつは ガーナだと思いました。
- ・ガーナが すきではなかったけど、行きたくなりました。
- ・日本の生かつの方がべんり だけど、ちきゅうにやさしいのはガーナなので、くらべもの になりません。

3 使用した教材

<教材3>チュエ語で

自己紹介プリント(左)

<教材4>資源リストプリント(右)

ガーナでじしょうかい

1. 自分の生まれた たんじょう日の曜日を見よう。

月曜日 男 Kwadno/Kajo コジョ
女 Adwoa/Ajoa アジョア

火曜日 男 Kwabena クワベナ
女 Abena アベナ

水曜日 男 Kwaku クエク
女 Akua エクア

木曜日 男 Yaw/Yao ヤオ
女 Yaa ヤア

金曜日 男 Kofi コフィ
女 Efua エファ

土曜日 男 Kwame クワメ
女 Ama アマ

日曜日 男 Kwesi クエシ
女 Akosua アコシア

2. じしょうかいの し方

① こんにちは
マーハ

② わたしは〇〇(名前)です。
ヤッローミー _____。

(たんじょう日を書こう) (じ分のみょう字と名前を書こう)

③ とてもありがとう!
メダーシパパ!
(ハをつければつけるほど かんしゃのいみがある)

しげんプリント

1. しげん…みのまわりの もとになるもの

2. しげん(みんなのいけて出たものを中心に)

○本にかかわるもの

- ・紙
- ・墨(さんそ)…本などのしよくぶつから 作られる。
- ・本でできたもの…本、タンス、本たな、しよきなど

○土にかかわるもの

- ・ガラス…けいしやとよばれる すなからできているものが多い。
- ・土でできているもの(かべなどふくむ)

○食べもの

- ・しよくぶつ…やさい、くだもの、キノコなど
- ・肉 …動ぶつのは、冬のあたたかいふくにもなる
- ・魚(エビやイカ、貝などの海の生き物)
- ・水(あんぜんにのめる水)

○てつなどの金ぞくにかかわるもの

- ・金やぎん、どう
- ・てつなどでできているもの…ひこうき、車、電車、家、ビル、船、でんしんばしらなど

○石ゆ(あぶら)にかかわるもの

- ・道のアスファルト
- ・冬のツヤツヤしたジャンパー
- ・ビニール
- ・ガソリンなどのねんりょう…車、トラック、ひこうき、船、バスなどを動かすのに使う。
- ・ガス…あぶらを取り出す工場で、出たものから作っているものもある。
- ・電気…日本は、石ゆをもやしてできた電気をたくさん使っている。
- ・プラスチック…ベトトル、ケース、ゲームやカセットにもつかわれている。

6-7 時限目「今自分にできること」

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイク(地球の真実クイズ)…スライドショーで画像を見ながら 3 択クイズに参加する。
 1. 資源は誰がたくさん使っている?
 2. このままのペースで伐採するするとどうなる?
 3. 世界で 1 日 100 円以下の生活する人は何人いる?
 4. 3 秒に 1 回、地球上で何が起きている?
- ② 「地球にとって良いこと/悪いこと(行動)」を考える…「地球にとって良いこと(行動)」は緑の付箋紙、「地球にとって悪いこと(行動)」は赤の付箋紙に記入する。グループでそれぞれ模造紙にまとめる。
- ③ 地球のために「今自分にできること」を考える…物語「私にできること」を聞き、地球に優しい生活をするために「今自分にできること」を考えて書き出す。グループで8つにまとめ、発表する。自分でできそうなことを一つ選ぶ。
- ④ 振り返りシートを記入する。

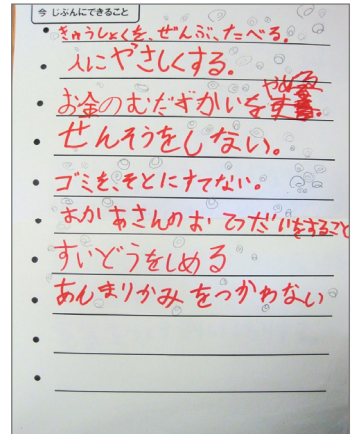
この時限のねらい

- ① 地球にとって良いこと(行動)、悪いこと(行動)を考える。
- ② 地球に優しくするために、今自分にできることを考える。



2 子どもの活動の成果・反応

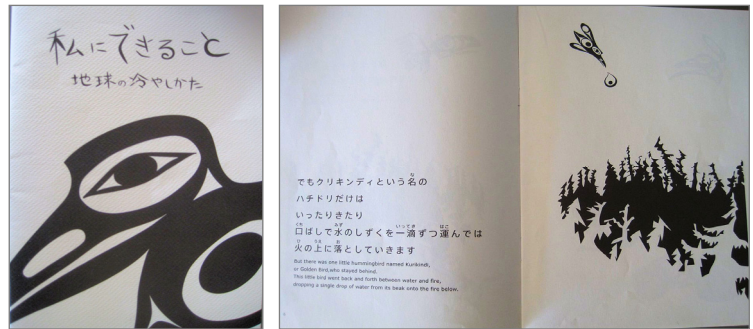
- ◇ ②…地球に良いこと(行動)は、「毎日おやつをいちごにする」「しょくぶつをそだてる」などといった意見が、地球に悪いこと(行動)は、「ごはんをいっぱいのごす」「むだづかいをする」などといった意見があった。
- ◇ ③…グループ発表で以下の様な意見が出た。「きゅうしょくを ぜんぶ 食べる。」「おかあさんの お手伝いをする。」「すいどうをしめる。」「あらいものは なるべく 手さぎょうで あらう。」「ものの きもちを かんがえる。」「でんきや水を むだづかいしない。」
- ◇ 6-7時限目の振り返り…「今じぶんに できることを見つけることができました。」「どうぶつの いのちも たいせつに しなきやいけない りゆうが 分かりました。」「べんきょうができてよかった。1歩おとなっぽく なった 気がしました。」「ちょっと早くねるようにしたいです!」「じぶんには やれないこともあるかもしれないが、ぜったいに「やる」っておもいました。」



3 使用した教材

<教材2> 「今、地球で起こっている30の真実」

<教材5> 辻信一監修「私にできること地球の冷やし方」2005年、ゆっくり堂



■ 全体を通して

1 授業の様子

<写真1> 「もしもガーナの(農村)生活だったら」をイメージする様子

